



ながしま

議会だより

NO.21

夏の暑さを和らげる
ゴーヤーの
グリーンカーテン

6月定例会

(H23.6.10～6.21)

定例会で決まったこと.....	2～4
施策を問う（一般質問）.....	5～9
常任委員会の審査報告.....	10～11
所管事務調査報告.....	12
議会のうごき・臨時会.....	13

一般会計予算に

7億786万7千円を追加



介護基盤緊急整備特別対策事業（小規模特別養護老人ホーム建設）の予定地（川床）

平成23年第2回長島町議会定例会は、6月10日から21日までの12日間の会期で開かれた。

10日は、平成23年度一般会計補正予算（7億786万7千円追加、総額102億4162万5千円）、条例改正等9件、報告2件の議案が上程され、町長から行政報告と提案理由の説明があった。このほか請願1件と陳情1件を委員会付託した。

13日には、議案に対する総括質疑を行い、議案9件を委員会付託して、1議員が一般質問した。

14日には、4議員が一般質問し、15日から16日までは2委員会に分れて議案等の審査を実施した。

20日には、全員協議会を開き、最終日の21日は、各委員会の審査結果を報告して、すべての議案を可決した。

報告

繰越明許費の歳出予算繰越

長島町一般会計、長島町国民健康保険診療施設特別会計、長島町簡易水道特別会計、長島町漁業集落環境整備特別会計の平成22年度繰越明許費に係る歳出予算の繰越について報告された。

長島町観光公社の経営状況

町が出資している財団法人長島町観光公社の平成23年度事業計画と予算が報告された。

税条例の改正

東日本大震災の被災者等の負担軽減のため、税制上の緊急対応として地方税法の一部を改正する法律等が施行されたことに伴い、関係する長島町税条例の一部を改正した。

教職員住宅条例を改正

本浦小学校一般教職員住宅と菅牟田住宅の2棟を町営住宅へ所管換えしたため、長島町教職員住宅条例の一部を改正した。

町営住宅条例を改正

教職員住宅から所管換えした菅牟田住宅1棟を新たに町営住宅にするため、長島町町営住宅条例の一部を改正した。

定例会で決まったこと

議案番号	件名	議決日	議決の結果
報告第1号	平成22年度長島町繰越明許費繰越計算書の報告について	6月13日	報告
報告第2号	平成23年度財団法人長島町観光公社の経営状況について	6月13日	報告
議案第41号	長島町税条例の一部を改正する条例について	6月21日	原案可決
議案第42号	長島町教職員住宅条例の一部を改正する条例について	6月21日	原案可決
議案第43号	長島町町営住宅条例の一部を改正する条例について	6月21日	原案可決
議案第44号	公有水面埋立免許の出願に係る意見について	6月21日	原案可決
議案第45号	公有水面埋立免許の出願に係る意見について	6月21日	原案可決
議案第46号	新たに生じた土地の確認について	6月21日	原案可決
議案第47号	字の区域変更について	6月21日	原案可決
議案第48号	平成23年度長島町一般会計補正予算	6月21日	原案可決
議案第49号	長島町川床ふれあい広場の指定管理者の指定について	6月21日	原案可決
請願第1号	諸浦埠頭可動橋に関する請願	6月21日	継続審査
陳情第1号	川内原発増設計画の白紙撤回などを求める意見書の採択について	6月21日	継続審査

請願・陳情

諸浦埠頭可動橋に関する請願
 請願者 鷹巣 有限会社山坂汽船
川内原発増設計画の白紙撤回などを求める意見書の採択について
 提出者 鷹巣 大田慶吾

川床ふれあい広場施設の指定管理
 長島町川床ふれあい広場施設を民間の知恵と活力で再興を促すとともに、効果的な管理を図るため、つわぶき屋「花とうふ」の会を指定管理者として指定した。

字の区域変更
 黒崎漁港内の公有水面埋立で新たに土地が生じたので字の区域を変更した。

新たに生じた土地の確認
 黒崎漁港内の公有水面埋立で新たに生じた土地を確認した。

公有水面埋立許可の出願
 蔵之元漁港の施設整備に伴う公有水面埋立の意見を公有水面法第3条第4項の規定により議決した。

公有水面埋立許可の出願
 長島港（諸浦地区）の港湾施設整備に伴う公有水面埋立の意見を公有水面法第3条第4項の規定により議決した。

その他



獅子島の小学校新築予定地（獅子島中学校内）を視察する建設経済文教常任委員会

補正予算の主な事業を紹介

サンセット長島の耐震診断・・・・・・・・・・・・・・・・	2,104 千円
七郎山にトイレ・防護柵整備、獅子島ウォーク等・・・・・・・・	25,557 千円
小規模特別養護老人ホーム建設の補助・・・・・・・・	116,000 千円
東町産業開発と畑作農産加工センターの改修・・・・・・・・	12,801 千円
平尾浜漕線の道路整備・・・・・・・・・・・・・・・・	51,110 千円
山門野汐見線の道路整備・・・・・・・・・・・・・・・・	158,498 千円
萩之牟礼茅屋線の道路整備・・・・・・・・・・・・・・・・	128,128 千円
行人岳線の道路整備・・・・・・・・・・・・・・・・	126,780 千円
獅子島の小学校新築の設計委託等・・・・・・・・	14,458 千円
長島町文化ホール改修の設計委託・・・・・・・・	3,465 千円

被災地に義援金送る

長島町議会は3月11日に発生した東日本大震災の被災者の1日も早い復興を願い、義援金10万円を送った。

義援金は日本赤十字社を通じて送り、被災地の支援のために拠出される。

2 議員に自治功労者表彰

全国都道府県議会議長会から、礒永秀生議員と小川武男議員が永年勤続（町議会議員として在職15年以上）の自治功労者として表彰された。



礒永 秀生 議員



小川 武男 議員

一般質問

施策を問う

池田 廣 議員



本町の防災と危機管理について問う

質問 3月11日発生した東日本大震災は100年に一度あるかないかといわれるぐらい未曾有の大災害であり、それに加えて原子力発電所からの放射能もれ、本年も梅雨時期、台風シーズンを迎え風水害、土砂災害が懸念される。この対策について伺う。

①災害マップの検証と実施対策

質問 3月11日発生した東日本大震災は100年に一度あるかないかといわれるぐらい未曾有の大災害であり、それに加えて原子力発電所からの放射能もれ、本年も梅雨時期、台風シーズンを迎え風水害、土砂災害が懸念される。この対策について伺う。

①災害マップの検証と実施対策

教育問題を問う

鶴翔高校生のため、寮の建設と通学生徒への助成策は

質問 教育文化の源であった長島校が、再編

計画によって3校が統合され平成17年4月より鶴翔高がスタートした。寮建設とバス通学生に對しての助成は。

答弁 教育長 寮建設については、生徒の通学実態調査を行い結果を得た場合、校長より県教委に建設の要望を要請し、町教委も建設に向けて側面から支援

産業振興について問う

農業面から

獅子島での馬鈴薯作付の結果と今後の取り組みについて伺う

質問 昨年獅子島2カ所で試験栽培され収穫されているが、その結果と今後の取り組みは。

を積極的に取り組む。

柑橘類での二次加工の考えは

質問 本町は、温州みかん発祥の地と言われ、柑橘栽培に昔から力を注いできた。現在数百とも言われる加工品に工夫は。

漁業面から
海藻類の不可価値策と養殖推進を問う

質問 本町は、四方海に囲まれ海藻類の宝庫である。二次加工する考えは。また養殖についての推進状況は。

する。通学生徒への助成策の実施は国が授業料無償化や出水地区の他の高校との公平性の観点から実施することはかなり厳しいと考える。

答弁 町長 立石、平野地区ともに本島と同等の収穫量で10a当たり2100kgから2600kg、販売額では46万7000円から53万7000円。今後については、温暖な地の利を生かして小規模基盤整備事業や客土事業等

答弁 町長 現在販売されている市販の物より安心・安全などの付加価値をつけた製品の開発や販売を試みる必要があるが、現状は相当量の原料で、消費の点から考えると県内外の加工原料で販売する方法しかない。

答弁 町長 単に加工でなく販売戦略を変えることで相当な付加価値がつき、漁協が取り組まれると町も全面的支援しバックアップする。天然のヒジキを用いているため資源の減少が懸念され人口種の苗の生産を試験しているので、技術が確立すると弾みがつく。

小川 武男 議員



行政改革の推進を

質問 合併後の5年間は旧町間の融和の促進、格差是正、均衡ある発展の町政が行われた。6年目を迎え、次の点を推進、整備して住民サービスの向上を図る考えはないか伺う。

答弁 町長 行政運営方式、課の統廃合は町有施設のあり方検討委員会等の考えを参考にし、住民の視線に立ち住民の利便性を確保しサービスを下下させない組織機構を進める。

①分庁方式の見直し
②課の事務分掌の見直しを行い課の統廃合の推進

③年功序列の人事ではなく昇給試験等を採用し女性、若手職員の管理職へ積極的な登用

④現在でも狭い役場前の駐車場が県道改良工

事で潰れるが今後の対応は。
役場前の駐車場整備は非常に重要な課題として、県道改良工事の状況等を考慮し、取り組んで行く。



県道改良工事で狭くなる長島町役場前駐車場

小型合併浄化槽事業の一元化を図れ

質問 本庁の合併浄化槽の普及率は40%台と低い水準である。普及率を高め、河川汚濁防止に努める必要がある。現行の個人設置事業と特定地域生活排水処理事業を個人設置事業に一元化する考えはないか。さらには工事補助額を環境庁が示す標準額に改め、個人負担の軽減を図り、浄化

槽設置の推進を早める考えはないか伺う。

一元化にむけ努力

答弁 町長 浄化槽の設置は長期計画に基づき推進している。今後は検討研究し本町に適した事業に一元化して推進して行く。

負担金の見直しは想定していなかったが、赤潮の発生の一因であ

る生活排水の対策として合併浄化槽の普及率の向上は絶対的な必要条件である。県の補助基準額のかさ上げ制度の採択に向け努力し設置者の負担軽減を図りたい。環境省が示す基準額との相違については担当課で検討し結論を出す。

避難所に非常用自家発電機の設置を

質問 東日本大震災が発生し、未曾有の災害をもたらした多くの方が被災され、心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。本町も地域防災計画をつくり、各種の災害に備えているが、想定を超えた災害が近年多く発生している。避難所等を含め防災計画の見直しはでき

ているか。また、避難所に自家発電機設置が必要だと思いが、考えを伺う。

答弁 町長 3月に町防災会議を開催し見直しを行った。しかし、想定を超える災害が多く発生しているので、避難所の見直し、備蓄物の確保・保管など重

要な課題と考えている。今回の大震災等を考えると、主だった施設は設置の必要性は感じており、今後の課題だと思ふ。さらに、集落別の防災マップを作成し、日ごろから災害時への対応を周知していきたい。

礪永 秀生 議員



船借り上げ料の見直しを

原油高騰等で経営
が悪化
状況を調査して会
議を開催する

質問 獅子島の船借り
上げ料について、料金
の見直しをする計画は
ないか。原油高騰等
で経営が成り立たなく
なっている。

答弁 町長 状況を調
査し、会議が必要であ
るのか、改定が必要で
あるのか判断したうえ
で、船借り上げ料金改
定のための会議を開催
する。

長島物産館の駐車場増設を

町有地埋立の状況
は
問題解決へ努力

質問 長島物産館付近
の町有地を埋め立て、
駐車場にするというこ
とであったが。

答弁 町長 用地確保
や公安委員会との協議
など難しい問題があ
る。解決には知恵が必
要で、努力している。

白瀬地区の断水解消を

貯水タンクの容量
を大きく
国庫補助事業で施
設を更新

質問 白瀬（出元）地
区の水道施設整備につ
いて、簡易水道が断水
することがあるので貯
水タンクの容量を大き
くできないか。

答弁 町長 諸浦地区
の給水計画の見直しを
行い、平成21年度から
5カ年計画で国庫補助
事業を導入して施設の
更新を図っていく。

実行委員会等を先進地研修へ

研修で接待・接遇
意識の高揚を
考える。

質問 夢追い長島花
フェスタが好評で継続
したいとのことだが、
意識を高める接待・接
遇のために実行委員会
等を先進地へ研修させ

国内外の研修必要
答弁 町長 先進地の
研修視察は必要性を認
識している。国内外を
含め、研修する必要が
あると考えている。

廃校の有効利用法は

老人ホームなどに
利用する考えは
健康保持ができる
活用法を

質問 獅子島の小中学
校統合後、廃校となっ
た学校の有効利用法と
して老人ホーム的なも
のに利用する考えは。

答弁 町長 平成24年
度から平成26年度の介
護保険事業計画で検討
ができるのではないかと
考える。

原子力発電の安全性は

使用済み核燃料に
対する認識は
この集合体の役割を
終えたものが使用済み
核燃料となり、原子炉
の横にある使用済み核
燃料ピットに保管され
ている。施設の管理容
量は2800体あり、
現在1770体保管し
ている。

質問 川内原子力発電
所の使用済み核燃料の
保管・管理の現状につ
いてどのように認識し
ているか。

答弁 町長 長島町に
最も近い川内原子力発
電所の状況を九州電力
の資料から答弁する。

燃料は二酸化ウラン
が使用され、燃料棒に
加工して254本並べ
たものが燃料集合体と
呼ばれ、原子炉に15
7本装荷されている。

長島町としては、一
部が川内原発から半径
30km圏内に位置してい
るので、原子力施設の安
全に関しては注意深く
見守っていくべきであ
り、必要と判断した場
合には九州電力に対し
説明会の開催を要請し
ていく。

廃校となった学校施
設等を利用して、広い
スペースでデイサービ
スやリハビリテーショ
ンを実施し、健康保持
ができるような活用方
法を考えていく必要が
ある。

福永 伸親 議員



集落の再編・統合について

質問 近年、行政と地域住民の共生協働社会を掲げる自治体が増える中、住民の自治意識が改めて注目されている。過疎化による人口の減少と高齢化、さらには生活の都市化により、地域共同体として、また町行政の末端組織としての機能を十分發揮するには、規模が小さいと判断されるようになってきているのが現状である。本町でも集落によっては、高齢化率50%を超え、集落機能維持が困難とされ

る限界集落が3集落もあり、早い時期に行政が主導する形で、地域特性に合わせた再編を促進する必要があると思うが町長の考えを伺う。

また、「地域応援隊制度」の実施要綱が作成されているが、この制度を活用し推進がなされているかどうか、併せて伺う。

答弁 町長 町としては、集落再編の必要性は十分に認識しているが、現状では積極的に

推進するのではなく、集落の自主再編を尊重するスタンスである。また、地域応援隊制度での推進には行政も力を入れる。

質問 高齢者には負担となつている自治会費の減額、行政が支出している連絡員報酬等も軽減でき財政面のメリットもあるが、自治公民館の育成を図るための交付金を交付して、再編・統合を支援する考えは。

答弁 町長 合併をしない集落はあらゆることを自主的に判断して現在があることから、政策の中では合併についての位置づけは重要視していない。

職員人事に対する町長の考え方

「参事制度」について

質問 定年を1年後に控えた職員の「参事制度」については、管理職の配置対策の一環として後進に道を譲るとともに、多くの職員に管理職昇任のチャンスを与える機会も必要と考え、今後も「参事制度」は継続していくと議会は答弁されているが、4月の人事異動では実施されていない。答弁内容に「一貫性」が無いように思うが、基本的な考えを伺う。

答弁 町長 参事制度については、今年は12月に実施し残りの3カ月間を指導の期間としたい。また、「一貫性」については、政策に当たっては豹変^{ひょうへん}することもあるのですが、その状況を見て臨機応変に対応し

ている。

「統括監」について

質問 指江庁舎に「統括監」制度を設け、3月で定年退職された方を臨時職員として配置されているが、職場での位置付け、そして職務内容はどこまでの権

限を与えてあるのか伺う。

答弁 町長 事業を執行していく中で知識・経験を生かし、各課の調整等を図ってもらい事業が円滑に推進できるように役割調整を担わしている。



崎口 國昭 議員



水産業振興策を問う

漁業生産基盤「長島港口之福浦地区」の整備事業計画は

質問 本町の基幹産業の1つである水産業の振興を図るためには、漁業生産基盤の整備が重要であると考えます。「長島港口之福浦地区」を母港とする漁業は、ブリ、ヒオウギ貝の養殖、定置網漁等で漁業従事者も青壮年の人たちが多く、意欲的な漁業が営まれている。

近年の漁船の大型化

や船籍数の増加、漁獲物の陸揚げ、漁具の補修等、現在の物揚げ場および係留施設では狭隘で、作業効率の低下、安全性の確保が困難な状況にある。港湾区域の拡大を含め、早期の整備が必要である。

整備事業計画および早期実現へ向けての取り組みについて町長の考えを問う。

来年度の補助事業新規採択に向け努力

答弁 町長 水産業の振興のためには港湾漁港の整備が大切だと認識している。

「長島港口之福浦地区」の整備計画については、現施設の北西部へ港湾区域を拡大し、施設整備としては防波堤・物揚げ場・船揚げ場等の整備はもちろん、浮桟橋とさらには臨港道路の整備も含め、総合型の計画を県とも協議、要望している。国の予算も不透明な状況だが、来年度の国の補助事業新規採択に向け努力していく。

地域振興と安全な道路の整備促進を

町道「平尾浜渡線、萩之牟礼茅屋線、藤之元口之福浦線」改良整備の進捗、今後の計画は

で35%の進捗である。各路線とも平成25年度までに計画区間の完成を目指している。

質問 町長の政策目標の1つに、交通網の整備を掲げられている。地域振興の基盤となる道路整備は大変重要なことであると考えます。

平尾浜渡線等各路線の改良整備の進捗状況を伺う。

平成25年度までに計画区間の完成を目指し取り組み

答弁 町長 現在、町内の道路改良事業は交付金事業5路線、起債事業20路線を整備中である。

平尾浜渡線が事業着手から5年間で進捗率68%、萩之牟礼茅屋線が3年間で50%、藤之元口之福浦線が1年間

年間、事業費は3億4000万円が見込まれている。町として用地と事業費の確保に努力し、将来的には県道平尾川床線の入り口の三叉路箇所を拡張整備までつなげていければと考えている。

県道長島宮之浦港線平尾地区の整備事業計画の進捗状況と町の取り組みは

質問 長年の地元の要望活動や町当局の積極的な取り組みが実を結び、平成22年度に平尾交差点改良の測量が実施された。平成23年度以降の事業計画および本町の今後の取り組みについて伺う。

用地と事業費の確保に努力

答弁 町長 県道平尾地区の整備については、本年度新規採択された。事業内容は、平尾交差点改良工事200mである。事業年度は平成27年度までの5



改良工事に着手する平尾交差点

常任委員会の審査報告

総務民生常任委員会

委員長 磯永 秀生

▼企画財政課関係

問 獅子島フェアの目的と時期は。

答 獅子島の情報発信

による都市との交流および観光物産宣伝対策で、実施時期は9月中旬に九州管内、11月に東京で開催されるアイランドー事業、2月にウォーキング大会、3月にふるさと特産市場に出店する計画。

問 獅子島七郎山のトイレの完成時期と規模は。

答 2月の獅子島ウォークの前には完成させたいと思っている。規模は針尾公園なみの身障者用、男性用、女性用を計画して

いる。

▼総務課関係

問 サンセット長島の耐震診断をするにあ

たって、町としての方針案が必要だと思うが。また町有施設のあり方検討委員会の構成はどうなっているか。

答 20人程度の職員等で構成する専門部会を設置し、そこで検討した案を22人の委員で構成される委員会に提案し、検討してもらう。

問 サンセット長島建

築後、初めての耐震診断か。また、過疎計画では新たに建設する計画になっているが、今回の診断結果で改修等

の対応をするのか。

答 初めての耐震診断で、管理者としての責務でもあるのできちんと診断する必要性がある。現状把握が目的である。

問 もし建て替えるなら、現在の場所が景観からも一番良いと考えるが、場所についてはどう考えているか。

答 町有施設のあり方検討委員会で検討し答申することになる。

▼町民福祉課関係

問 冠動脈バイパス手術を必要とする障害者

に対しての助成は、個人負担を一部助成するのか。昨年の実績は。

答 生活保護世帯が全額補助で、ほかの保険加入者は所得に応じての補助となる。また昨

年の実績は4人で公費負担が347、240円だった。

問 手話教室の昨年の実績と今後の方針は。

答 受講者は当初25人で27回開催したが、修了証書を手にしたのは12人であった。今後は出水地区視聴覚協会から要請があり、実施内容を検討して、現在の初歩的な講座から段階的にステップアップする方法を考えている。

▼総合管理課関係

問 手数料で、便器8器、洗面台11基、床約40㎡となっているがどうするの。

答 トイレ等の清掃は職員で実施しているが、黄ばみや黒ずみなどがあると苦情があり、洗面台、トイレ、

床の清掃を薬剤等使用できる専門業者に依頼するものである。

▼保健衛生課関係

問 介護基盤緊急整備

特別対策事業（小規模特別養護老人ホーム建設）で1億1600万円計上されているが、町からの持ち出しはないのか。

答 福祉施設建設の経費は1億5000万円程度と考えており、差額の3400万円はサービス事業者の負担となる。

問 サービス事業者の公募方法と実際計画している法人はあるか。

答 出水地区内2市1町に住所を有する人を対象に、防災無線、町ホームページを利用して公募する。

問 福祉施設を開設した際の雇用者数は何人を予定しているか。

答 雇用は施設管理者等含めて25人から30人を見込んでおり、有資格者等の制限があるが、なるべく町内から雇用してもらうようお願いしたい。

問 募集資格でクリアしなければならない課題は。

答 募集資格は法人または新設の法人でよいが、施設完成時点で社会福祉法人の資格を有する必要がある。指定地域密着型サービスの事業人員、設備、運営に関する基準等の法令をクリアする必要がある。

問 建設予定地（川床）の面積は。また建設予定地の地盤は軟弱であると聞くがその状況は。

答 面積は3300㎡である。また予定地は軟弱地盤であると聞いている。調査して対策が必要であれば補正でお願いしたい。

常任委員会の審査報告

建設経済文教常任委員会 委員長 児島 薩男

▼水産商工課関係

問 観光費の事務的補助金で旅館業組合補助金の内容は。

答 現在組合員は14

で、長島町は出水市や阿久根市と比較して食と観光が結びついていないので、旅館組合独自で活性化に取り組みための事務的補助金。

問 温泉センター管理費の源泉地湯量調査委託料は。

答 椿の湯の源泉は、以前は毎時4・5tの湯量があったが、現在3・5tに減少しており、5月は渇水時期と重なり営業に支障が出るところまで湯量が落ちてきている。今後この源泉がどこまで利用できるかを見極めるための湯量調査を行う。

▼建設課関係

問 平尾浜瀧線交付金

事業の工事場所は、また萩之牟礼茅屋線の交差点の用地買収は済んでいるのか。

答 平尾浜瀧線交付金事業の工事場所は、旧萩之牟礼公民館付近の水田を埋め立てて延長150mの工事を予定している。萩之牟礼茅屋線の用地交渉は何度か交渉したが、買収までは至っていない。

▼耕地課関係

問 農地費土地改良事業委託料で蔵之元大崎地区確定測量に伴う委託料の内容は。

答 昭和50年ごろ自然休養村整備事業では場整備事業が実施され、換地処分まで行われているが、その換地処分の地図と国土調査の成果地図の誤差が大きい

▼農林課関係

問 長島町川床ふれあい広場施設の指定管理者の指定で、収支計算ではレストラ7割、豆腐が3割の比率になるようだが、レストラの集客対策はどのようなに考えているか。

答 レストラは、長島町は馬鈴薯やブリが特産品であるが、食べる所がないという声を聞くので、長島の郷土料理として売り出していきたい。

問 東町産業開発の原料の町内・町外の搬入状況は。

答 東町産業開発の原料の搬入状況は、町内産420tで34・4%、町外産が800tで65・6%である。

▼教育総務課関係

問 獅子島小学校校舎新築事業の実施設計業

務委託の内容は。

答 鉄筋コンクリート

総2階建て、1階が幼稚園の保育室・職員室・遊戯室・図書室など、2階が普通教室4教室と多目的教室の予定。

問 平成25年度開校となるが、地域住民の理解はどうか。

答 住民説明会を幣串・御所ノ浦・片側の3カ所で行い、大筋で理解していただいた。今後、校歌、制服の統一等、意見を集約しながら進めていく。

▼景観推進課関係

問 石積み花壇は、管理経費が必要だと思うが、重点分野の雇用事業が平成23年度以降なくなつた場合、どのような管理をしていくのか。

答 花壇の管理は、景観団体に依頼しているところは景観団体が行う。町が管理する部分

はこれまで同様である。管理費として基金を積み立て財源確保している。

場面では援助・支援が必要である。

▼学校教育課関係

問 教育振興費で特別支援教育支援の対象となる児童・生徒はどういうところを支援するのか。

答 児童生徒にはそれぞれ個人差がある。学習だけでなく、身辺処理、コミュニケーションといったさまざまな

▼社会教育課関係
問 生涯学習推進事業で英会話教室の講師は、何人か。カリキュラムの計画は。

答 英会話教室の講師は4人で2人1組で教えている。このような英会話教室は先進事例がなく、カリキュラムもモデルがないので、講師みんなで研究しながら取り組んでいる。



予算計上された畑作農産加工センター改修を現地視察

所管事務調査報告

建設経済文教常任委員会 委員長 児島 薩男

当委員会は、5月25日、26日の2日間、全委員出席のもと所管事務調査を実施した。

研修課題として、高

齢化の進展と共に農業者の高齢化も進んでいる

中で80歳を過ぎても

現役並の馬鈴薯栽培に

頑張っている方からよ

く聞く話が「いつまで

も重たいコンテナが持

てなくなるので高齢者

になっても軽くて作業

ができる作物はない

か」、こんな意見をよ

く聞くことから、馬鈴

薯栽培の先進地である

長崎県中央農業協同組

合飯森有喜支店にて研

修を受けた。

当該地区の馬鈴薯と

裏作の輪作体系につい

て、

①馬鈴薯と馬鈴薯

②馬鈴薯とニンジン

③馬鈴薯と大根

の組み合わせが主な輪

作体系であった。

政策的課題として平

成19年度に区画整理が

完成したことで、作業

の時間短縮・労力の省

力化・低コスト化・規

模拡大・農業機械の共

同利用等が整備され

た。

また、土づくり対策

として各ほ場の土壌分

析により成分数値を出

して土づくりを行う。

なお、堆肥は個々の

畜産農家から散布して

堆肥舎を整備し完熟堆肥を供給。各ほ場の畑面勾配をゼロ勾配として表土の流失を防止、担い手農家を中心に認定農家への農地利用集積・農地利用率の向上（平成19年度201％達成）。また馬鈴薯のそうか病対策としてピクリンによる消毒を実施している。

馬鈴薯の平均反収は、2・8t～3t（平均単価キロ当たり220円）、販売価格で反当り61万6000円。ニンジンは反当5t（平均キロ単価106円）、販売価格は反当り51万円。また、担い手1戸当

たりの経営面積1・94ha。以上のような状況で営農意欲のある農家が多く、高齢化対策としての新規作物参入の手がかりまでは及んでいないとのこと。

次に、JA久留米における農作業受委託作業の現状および集落営農・農地集積等について久留米農業協同組合東部支店で研修を受けた。東部支店は、平成16年に営農推進議会においてプロジェクト委員会を立ち上げ、集落営農についてのアンケート調査、集落毎に座談会を開催した結果、地区全体で一つの営農組合を立ち上げる

ことになった。組合員数202人、加入面積172haで設立した。

また、同地区には他に機械共同利用組合が組織されていたので、運営上努力負担になったため営農組織と機械組合を統合した。当該地区は水稻が主な作物である。その結果、効果として水稻の苗、肥料、農薬を共同購入し、使用した分を受益面積で按分し無駄を省いている。また、植え付け、防除、刈り取りは同組合がすべて行うため効率的であるとのこと。

ここまで組織化するには、

①行政・農協・農家の協力と理解が不可欠

②リーダーの育成

③専業農家の理解

④兼業農家は、できるだけ土地を提供する。

など地域全体で取り組む必要がある。当該地区は、水稻が基幹作物であるため収穫期にさほど問題ない。農地の集団化が図られているので担い手農家を中心に事業推進が図られ、ある程度条件がよかったことと、リーダーの存在も大きいとのこと。

今後の取り組みとして平成22年度から新政策のもと農業政策で個別所得補償モデル対策事業等が実施されているが、事業の内容をよく検証し地区内の普通作の面積拡大に取り組んでいくとのことであった。

長島町における集落営農を考えた場合、例えば馬鈴薯は、出荷時期で反収・単価に変動があるためプールにした場合、農家の理解が得られるかなどの問題があると思われる。

議会のうごき

22日 18日 16日 16日 13日 10日 9日 1日 5月 27日 24日 21日 18日 17日 15日 12日 7日 6日 4日 4月 25日 24日 23日 20日 18日 17日 15日 3月

中学校卒業式
長島町農業委員会総会
第28回全国都市緑化かごしまフェア開会式
合併5周年記念式典
夢追い長島花フェスタ開会式
阿久根地区消防組合例月出納検査
小学校卒業式
長島町例月出納検査
第2回長島町議会臨時会
小・中学校入学式
転入教職員宣誓式
議会だより編集委員会
長島町農業委員会総会
獅子島招魂祭
阿久根地区消防組合例月出納検査
長島町例月出納検査
関西ながしま会
長島町赤潮対策協議会
水俣病犠牲者慰霊式
離島関係議会議長会研修会
鹿児島県町村議会議長会常任委員会研修会
長島町議会運営委員会
鹿児島県建設業協会出水支部通常総会
長島町農業委員会総会
第3回長島町議会臨時会
全国町村議会議長・副議長研修
長島町議会議員行政視察研修
夢追い長島花フェスタ閉会式



夢追い長島花フェスタ



長島町合併5周年記念式典

傍聴においでください

次回定例会は **9月上旬** 開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。

次回定例会は、9月上旬の開会を予定しています。

傍聴をお待ちしています。

なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。





まちの話題



城川内分団が総合優勝

消防ポンプの操作技術を競い合う「平成23年度長島町消防ポンプ操法大会」が7月3日、杉ノ段のJ A東事業所馬鈴薯選果場であった。

大会には町内の11分団が出場し、総合の部、ポンプ車の部、小型ポンプの部で優勝が競われた。大会成績は次のとおり。

- 総合の部 優勝 城川内分団
- ポンプ車の部 優勝 諸浦分団
- 小型ポンプの部 優勝 中央分団宮ノ浦班

長島に三地区が集い友好深める

長島町と阿久根市、天草市の2市1町が友好と親善を深める第59回三地区親善体育大会が7月10日、長島町を会場として開催された。

剣道や野球、バレーボールなど13種目で熱戦が繰り広げられ、長島町は卓球、男子ゲートボール、女子ゲートボールの3種目で優勝し、総合では2位だった。



◆編集後記

3月11日に起きた東日本大震災は、数多くの痛ましい犠牲者・不明者を出した被災現場の住民の皆さんはもとより、全ての国民に深い衝撃が走っております。被災された皆さんが厳しい状況にもめげずに、頑張っておられる映像が出る度に心が痛み、一日も早い復旧・復興を願うところであります。

さて、6月定例会が10日から会期12日間で開催され、補正予算・一般質問等について活発な議論が交わされました。

今後は「議会の在り方」等についても準備・検討しながら、「開かれた議会」を目指し、町民に議会活動状況を理解していただくような行動も必要であります。

町民の「生の声」が行政・議会に反映され、後世に残るような「まちづくり」ができますようご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

(福永)

【編集責任者】 濱上 實則

【編集委員長】 池田 廣

【委員】 植元 敏光

原口 秀昭

下塩見 浩

福永 伸親